

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 本体に熱湯を入れ、クエン酸を約10g加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■保冷が効かない	十分に冷たいボトルを入れていますか。	十分に冷たいボトルを入れてください。

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・
電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

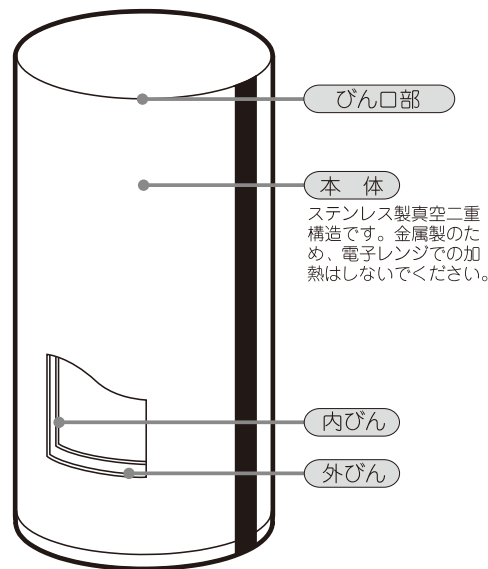
ワインクーラー

ACD

取扱説明書

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。①

安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

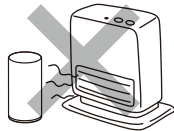
保冷以外の目的に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。



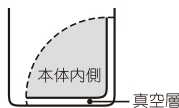
やけど・けがなど危険。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。



変形・変色の原因。

真空層の内部から水の音がある場合は、使用しない。



保溫：保冷性能が低下するおそれ。

- 直径10cm以下のボトルを入れてください。
- ボトルを入れたまま、本体を持って注がない。
ボトルが飛び出して、けがや破損の原因。
- パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械の近くで使用しない。万一こぼした場合、精密機械の破損の原因。
- 不安定な場所に置かない。
転倒して飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。
- 冷凍庫に入れない。故障の原因。
- 電子レンジでの加熱はしない。火花が飛び危険。変形や変色の原因。
- 倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれの原因。

ご使用方法

ご使用前に本体を洗ってからご使用ください。

1 ボトルを本体に入れる

ボトルを中央にゆっくり入れる。
※いきおいよく入れると破損するおそれがあります。
直径10cm以下のボトルを入れてください。



ご使用方法

2 飲みものを注ぐ

グラスなどに注ぐときは、その都度本体からボトルを取り出す。
※本体を持って注がない。



3 飲み終わったら

ボトルは長時間放置しないで、本体から取り出してください。

お手入れ方法

- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆ お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

- 本体外側** 水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。
- 本体内側** 水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、水分が残らない様、乾燥させる。※つけ洗いはしない。

お手入れ上の注意 お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は漂白剤を使用しない。 サビ・塗装はがれのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。
傷・サビなど故障の原因。
- 本体の煮沸および食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。 傷・サビ・変形など故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗った後は、必ず水分をふきとる。
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。